

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年7月26日（水）

2 確認箇所

3号機原子炉建屋南側ヤード

3 確認項目

サブドレンピットNo.40における油分検出の対応状況

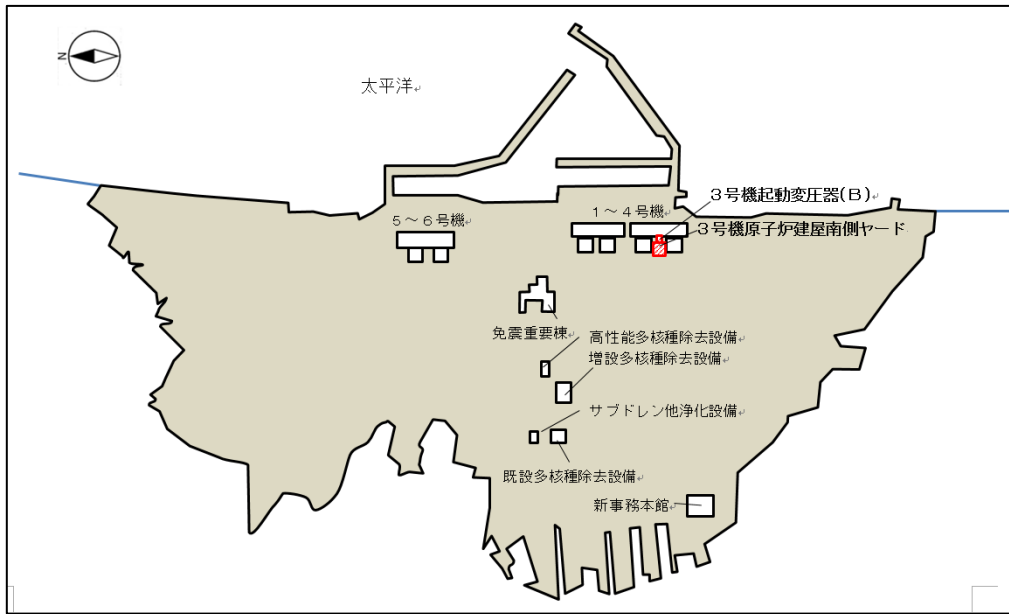
4 確認結果の概要

令和4年4月21日に発生した3号機起動変圧器（B）からの低濃度PCBを含む絶縁油の漏えい後、サブドレンピットNo.40において低濃度PCBを含む油分が検出されたことを受け、同日以降、No.40及び近傍のNo.210、No.211のサブドレンピットは運転を停止している。

東京電力では、この停止による建屋への地下水流入量の増加を抑制するため、絶縁油拡散抑制対策（鋼矢板設置、薬液注入等）を行い、No.210及びNo.211の運転を再開することとしている。

今回は、3号機原子炉建屋南側ヤードのPCB含有絶縁油拡散抑制対策の実施状況について確認を行った。（前回確認：[令和5年4月19日](#)）（図1）

- ・前回、ヤード中央部において、鋼矢板設置予定箇所の地面が掘削されており、クレーン及び鋼矢板を設置するための圧入機が準備され、鋼矢板設置のための作業が行われていたが、今回確認時において、鋼矢板の設置が完了していた。（写真1）
- ・ヤードの3号機原子炉建屋側に被ばく線量低減のための金属製の放射線遮へい用の囲いが設置されており、その中に地下に薬液注入を行う設備が設置されていた。（写真2）
- ・ヤード北西側には、薬剤と水を混合し薬液を製造するプラントが設置されていた。（写真3）
- ・ヤードの4号機原子炉建屋側に被ばく線量低減のための金属製の放射線遮へい用の囲いが設置されており、その中に地下に薬液注入を行う注入口を設けるために、地下構造物等を削孔する設備が設置されていた。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



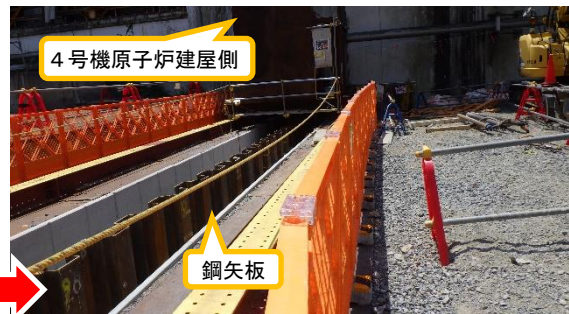
(写真1-1)
鋼矢板設置予定箇所の地面掘削状況
(令和5年4月19日、南西側から
3号機原子炉建屋に向かって撮影)



(写真1-2)
鋼矢板設置箇所の状況 (令和5年7
月26日、南西側から3号機原子炉
建屋に向かって撮影)



(写真1-3)
鋼矢板設置予定箇所の地面掘削状況
(令和5年4月19日、北西側から
4号機原子炉建屋に向かって撮影)



(写真1-4)
鋼矢板設置箇所の状況 (令和5年7
月26日、北西側から4号機原子炉
建屋に向かって撮影)



(写真 2 - 1)

薬液注入を行う設備が設置されている金属製の放射線遮へい用の囲いの状況



(写真 2 - 2)

薬液注入を行う設備の状況



(写真 3)

薬液を製造するプラントの状況



(写真 4 - 1)

地下構造物等を削孔する設備が設置されている金属製の放射線遮へい用の囲いの状況



(写真4-2)

地下構造物等を削孔する設備の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。